

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「鏡川と高知城のウラ側をめぐる!?大学生レコメンドツアー」を開催！

1月19日(日)に、まちのコイン「ぼっちり」で「鏡川流域城郭倶楽部」というプロジェクトを立ち上げ、お城の魅力を発信している高知大学地域協働学部1回生の坂東孝紀さんが「鏡川と高知城のウラ側をめぐる!?大学生レコメンドツアー」を開催しました！総勢9名で、高知城と鏡川との関係性などを理解し、参加者同士で交流しながらツアーを楽しみました！



参加者は、東京都から参加した鏡川流域関係人口講座2期生、毎週木曜夜のオンライン交流会参加者、「ぼっちり」を通じて今回のツアーを知ったユーザー様など。前日に開催したイベント「とさやま歩きを、もっと楽しく、健康的に」への参加をきっかけに、今回も参加したという人も。鏡川流域への関心がつながり、広がっています♪



案内役の坂東さんは、日本城郭検定の知識を生かして、散策ルートや各所での説明内容を考案。手書きのプレゼン資料も準備し、熱意を込めて案内してくれました！

追手門から出発！本丸までの道のりにも、見どころがたっぷり。参加者からの質問に答えながら、坂東さんが各所で豆知識を紹介していきます！



「ぼっちり」を通じて坂東さんに応援コメントが届きました！

「オンライン交流会で語っていた高知城愛がとても印象的でした！素敵なイベントになりますよう応援しています！」  
「なんてパワフルで情熱のある大学生なのでしょう！」

坂東さんは、「ぼっちり」の「コイン拾い」の機能を活用し、アプリのマップ上の高知城の敷地内にコインを配置。散策中、「ぼっちり」でコインを拾うと、坂東さんが考えたメッセージが表示される仕組みです！参加者で楽しみました♪



高知城の天守と本丸御殿は江戸時代から現存しており、国の重要文化財に指定されています！初代藩主・山内一豊も、かつては天守から鏡川を眺めていたかもしれません。築城時、鏡川の氾濫に苦戦しつつも、城下町をつくってきた歴史を学ぶことができました。

鏡川流域関係人口講座受講生などの伴走支援を行う株式会社「ほっこうち」の今橋副編集長も、企画段階から坂東さんの取組をサポート！



高知城はもちろん、城郭に対する情熱をフルに発揮し、案内してくれた坂東さんの凛々しい姿が本当に魅力的でした！  
これまでの鏡川流域関係人口の取組で築いた人と人のつながりも見えたツアーになりました♪



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり、山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android